



# 雪害に対する備え

## 防災課

我が国では毎年、自然災害により多くの尊い人命が失われており、雪に関する事故でも、多くの犠牲者が出ています。昨冬期（平成29年11月～平成30年3月）には、雪害により116人の方が犠牲となり、そのうち約9割に当たる102人の方が、屋根の雪下ろし等の除雪作業中の事故で亡くなりました。

また、平成30年1月から2月にかけて、北陸地方や関東甲信越地方、東北地方太平洋側で大雪となり、特に、2月上・中旬には北陸地方の多いところで平年の6倍を超える記録的な積雪となり、石川県と福井県の県境付近では多数の立ち往生車両が発生する等、道路、鉄道等の交通機能が麻痺し、物流が停滞するなど市民生活に多大な影響を及ぼしました。

雪に関する事故を防ぐため、大雪、暴風雪等が予想される場合には、以下のポイントに注意して、安全確保に心がけましょう。

### 【心がけるポイント】

#### ○在宅時の安全な過ごし方に関すること

- ・不要不急の外出を避ける
- ・懐中電灯、携帯ラジオ、食料、飲料水等の準備
- ・FF式暖房機（※）の給排気口付近の除雪状況の確認
- ※ 燃焼用空気を室外から給排気筒を通して取り入れ、燃焼により発生した空気を給排気筒を通して室外に出す方式

#### ○車両運転者等に対すること

- ・できる限り車両の運転は避ける
- ・事前の気象情報、道路情報等の確認
- ・車両の点検整備の確実な実施
- ・防寒着、長靴、手袋、カイロ、スコップ、牽引ロープ、毛布、飲料水、非常食等の準備
- ・道路状況に応じた無理のない運転
- ・スタッドレスタイヤやタイヤチェーンの早期装着
- ・暴風雪の際の早期避難
- ・車両の走行不能時の早期の救助依頼
- ・車両内での待機時のマフラーの定期的除雪、適切な換気による一酸化炭素中毒の防止
- ・立ち往生してやむを得ず車を離れる場合には、ドアをロックせずキーを車内の分かりやすい場所に残す

#### ○防災気象情報等の活用

- ・気象情報、注意報及び警報を活用して早めの行動をとる

除雪作業中の事故の主な原因には、以下のようなものが挙げられます。

- ・屋根、はしごなど高所からの転落
- ・水路等への転落
- ・除雪機の事故（巻き込まれなど）
- ・屋根からの落雪
- ・除雪作業という重労働による発作

除雪作業時には、特に以下の項目に注意して、作業を行い、事故を防止しましょう。

### 【命を守る除雪中の事故防止10箇条】

- 作業は家族、となり近所にも声かけて2人以上で！
- 建物のまわりに雪を残して雪下ろし！
- 晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるんでる！
- はしごの固定を忘れずに！
- エンジンを切ってから！除雪機の雪詰まりの取り除き
- 低い屋根でも油断は禁物！
- 作業開始直後と疲れたころは特に慎重に！
- 面倒でも命綱とヘルメットを！
- 命綱、除雪機など用具はこまめに手入れ・点検を！
- 作業のときには携帯電話を持って行く！

「よくある除雪作業中の事故とその対策」（内閣府、国交省）参照。この他にも除雪作業中の注意点等が掲載されていますので、参考してください。（[http://www.bousai.go.jp/setsugai/pdf/h2312\\_004.pdf](http://www.bousai.go.jp/setsugai/pdf/h2312_004.pdf)）



命綱、ヘルメットを装着して作業する様子（提供：新潟県）

今年もこれから本格的な雪のシーズンを迎えます。大雪、暴風雪等が予想される場合に【心がけるポイント】、【命を守る除雪中の事故防止10箇条】を理解して、安全対策を講じ、事故防止に努めましょう。

#### 問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課  
TEL: 03-5253-7525